

平成29年度 第一回 金沢大学 公開臨海実習 実施計画書

| | | | |
|----------------------|--|----------|------------------------------------|
| 実習タイトル | 「アカテガニに着目した海岸環境の保全に関する実習」 | | |
| 実習内容 | <p>金沢大学 環日本海域環境研究センターが面する九十九湾にはアカテガニが生息する。アカテガニ(<i>Chiromantes haematocheir</i>)は、十脚目ベンケイガニ科に分類されるカニの一種であり、日本では本州から南西諸島までに分布し、海岸や川辺に多く生息する。アカテガニは陸上生活に高度に適応しているが、成長過程(ゾエア期からメガロパ期を経て稚ガニまでの過程)において、一時的に海中で生活しなければならない。アカテガニは、一般的に7-8月の大潮(満月か新月)の夜、満潮の時間に合わせてメスが海岸に集合して、ゾエア幼生を放出する。</p> <p>九十九湾の海岸環境は、アカテガニの生息環境に適しており、ゾエア幼生の放出を観察可能である。そこで本実習では、アカテガニに着目して海岸環境の保全に関する実習を実施する。すなわち、①ゾエア幼生の放出の観察、②海岸環境の調査、③アカテガニを保護するためのピオトープ作りを行う。ゾエア幼生を採集するための④乗船実習も計画している。さらに、韓国での環境学の研究者を招聘して、韓国での最新の研究を聴講する。</p> | | |
| 実習内容キーワード | アカテガニ、ゾエアの観察、ピオトープ、環境保全、海岸環境の調査 | | |
| 担当教員氏名・ 役職名・所属 | 鈴木信雄(教授)・関口俊男(助教)・木谷洋一郎(助教) (環日本海域環境研究センター) 亀井宏泰(助教) (自然システム学系) | | |
| 協力教員氏名・ 役職名・所属 | 柳井清治(教授) (石川県立大学) 洪天祥(教授) (Hankuk University of Foreign Studies) | | |
| 対象学生・学年 | 国公立大学学部 1~4年生(院生も可) | 開講期間 | 平成29年8月28日(月) 昼~ 8月30日(水) 午後解散 |
| 開講大学・施設名 | 金沢大学環日本海域環境研究センター 臨海実験施設 | | |
| 施設の住所 | 〒927-0553 石川県鳳珠郡能登町小木ム 4-1 | | |
| 電話 | 0768-74-1151 | F a x | 0768-74-1644 |
| e-mail | nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp | Web Site | http://rinkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/ |
| 交通案内 | 金沢駅より実習施設まで往復ともマイクロバスで送迎予定です。8月28日、金沢駅に昼ごろ集合してください。詳細は採用決定後に本人へ連絡します。能登空港の利用(羽田-能登間1日2便運行)を希望する学生は事前に連絡して下さい。 | | |
| 費用 | 1,200円(宿泊費、クリーニング代)と毎日の食費。詳細は採用決定後に本人へ連絡します。 | | |
| 授業科目名 | 臨海実習1(野外実習1) | | |
| 単位数 | 1単位 ※公立大学の学生については単位認定を行わないかわりに受講証明書を発行します。 | 定員数 | 15名 |
| 授業料の徴収について | 徴収しません。 | | |
| 受講生選抜基準と 申し込み締め切り | 7月14日(金)17時必着(先着順とします。定員を大幅に超える場合は抽選とします) | | |
| 選抜結果連絡法 | 本人宛に受講許可証を郵送します。 | | |